

5. 魚類調査

(1) アイゴ類幼魚調査

前年度に引き続いて6月から7月にかけて来遊するアイゴ類幼魚の藻場における成長調査を行った。期間は1986年6月26日から9月3日までで、方法は前年度と同様である。結果は図10、11、12、13、および14に示す通りで、期間中の採捕総数はシモフリアイゴ316尾、アミアイゴ73尾、ハナアイゴ30尾、およびヒメアイゴ2尾である。図10にシモフリアイゴの採捕月日（以下すべて旧暦）と尾叉長、体重の関係を示す。基準点は旧暦5月1日に設定し（以下すべて）、前年度と比較した。尾叉長についての回帰式は $y = 31.2491 \cdot e^{0.0076X}$ ($r = 0.7713$)で前年度の結果とはほぼ類似し、前年度と合成した回帰式は $y = 29.8913 \cdot e^{0.0085X}$ ($r = 0.8003$)である。体重については $y = 0.3964 \cdot e^{0.0241X}$ ($r = 0.7644$)で前年度と合成した回帰式は $y = 0.3360 \cdot e^{0.0272X}$ ($r = 0.7918$)である。また、尾叉長と体重の両自然対数値の関係については図11に示す通りで、回帰式は $y = 3.7354 + 0.3077X$ ($r = 0.9892$)で前年度にはほぼ類似している。図12にアミアイゴの採捕月日と尾叉長、体重の関係を示す。今年の資料を1カ月前に移動させると去年の結果とはほぼ類似することから、アミアイゴの今年の来遊は去年に比べて1カ月ほど遅かったことが予想される。

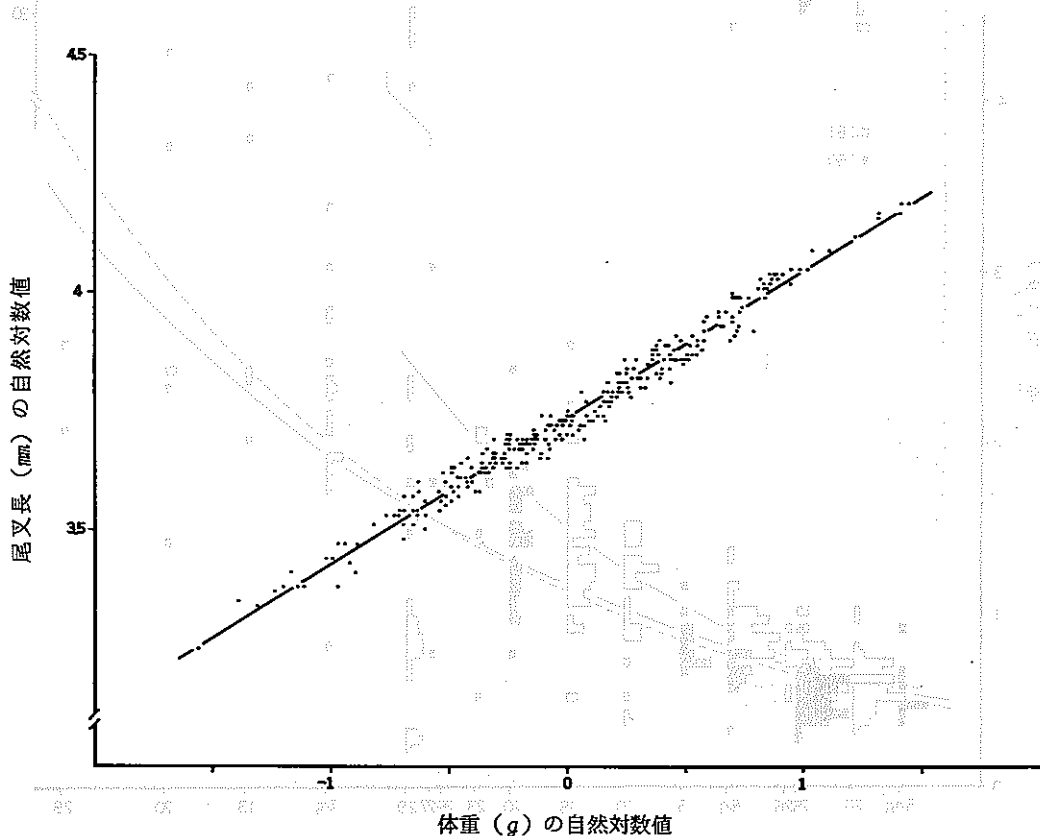


図11 シモフリアイゴの尾叉長と体重の関係

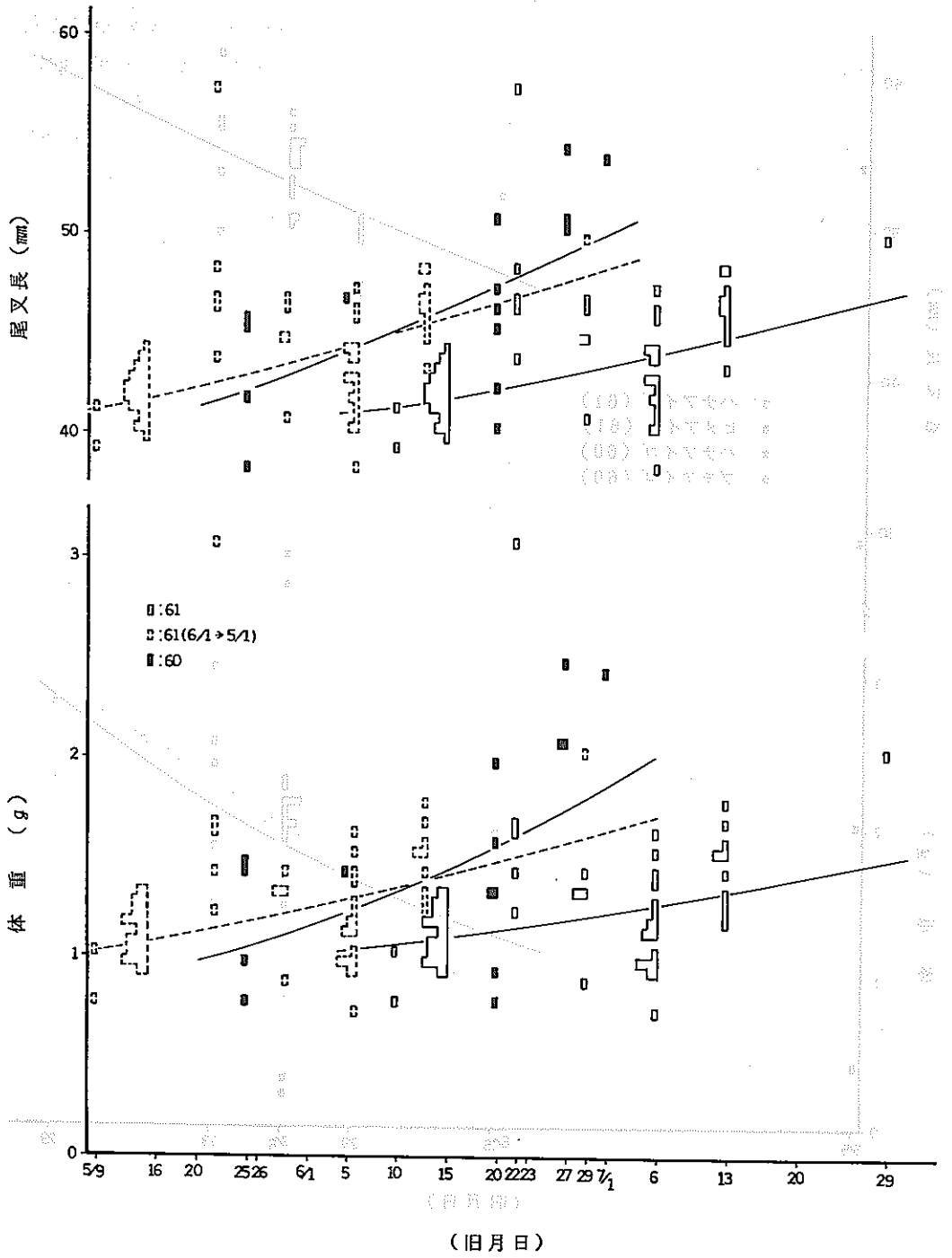


図 12 アミアイゴの成長

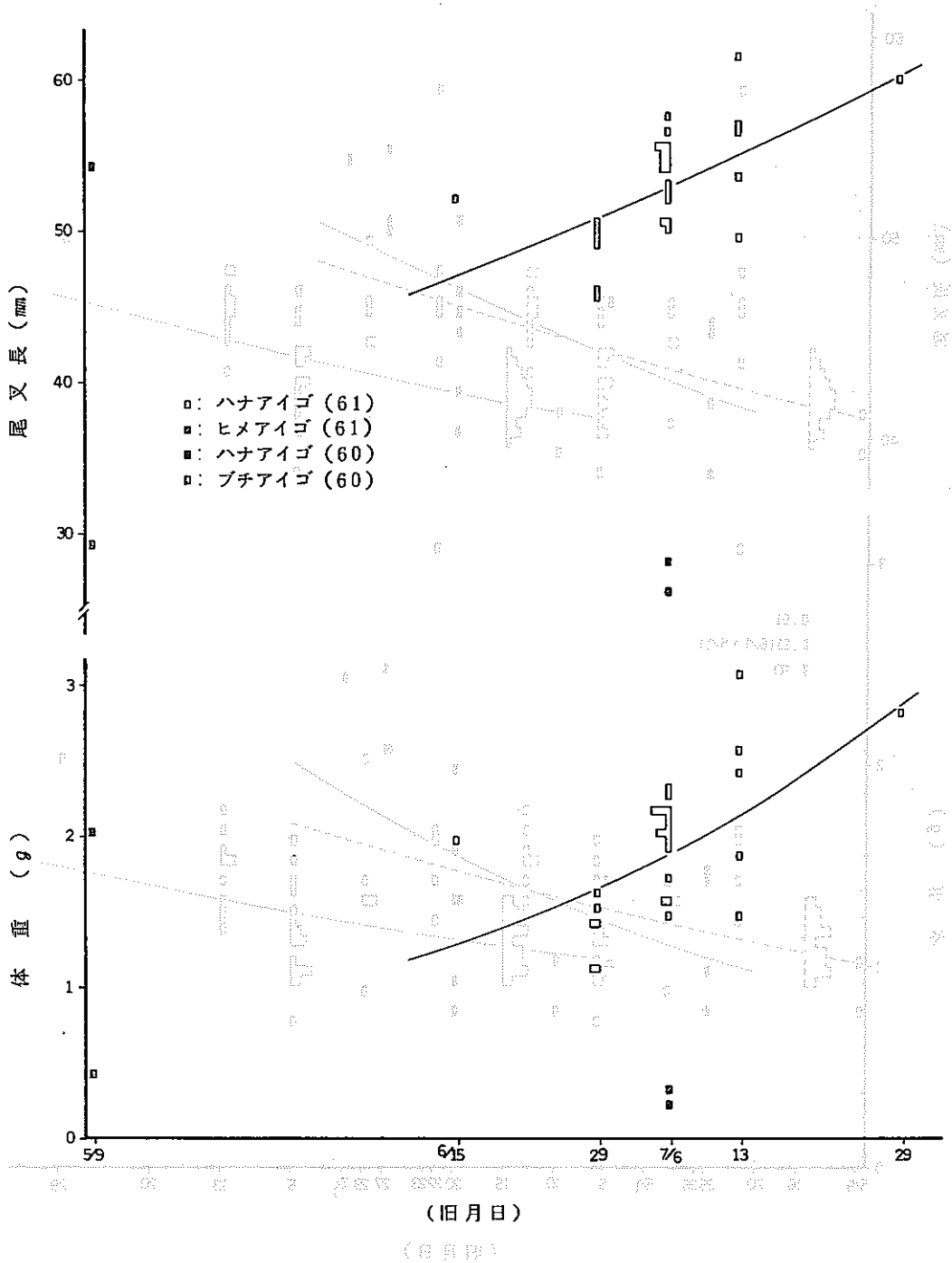


図13 ブチ、ハナ、ヒメアイゴの成長

各群の平均値を示す。 (単位なし)